

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : MH145 アルミパテ 硬化剤
供給者の会社名称 : 武蔵ホルト株式会社
住 所 : 東京都千代田区五番町14番地 国際中正会館7階
担 当 部 門 : 営業管理部
担 当 者 :
電 話 番 号 : 03-4265-8010
F A X 番 号 : 03-4265-8011
緊 急 連 絡 先 : 同上
推 奨 用 途 : アルミホイル補修用アルミパテの硬化剤

作成・改訂 2022年5月9日

2. 危険物有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性
健康有害性

分類基準に該当しない
急性毒性(経口) 区分4
急性毒性(経皮) 区分4
急性毒性(吸入:蒸気) 区分4
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) 区分4
皮膚腐食性/刺激性 区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1
皮膚感作性 区分1
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分2
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分1

環境有害性

水生環境有害性(急性) 区分2
水生環境有害性(長期間) 区分3

(注) 物理化学的危険性、健康有害性、環境有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類できない」又は、「区分に該当しない」であるため記載省略。

GHSラベル要素
シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
吸入すると有害
重篤な眼の損傷
臓器(呼吸器)の障害のおそれ
気道刺激を起こすおそれ
皮膚刺激
長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

- 【安全対策】 必ず「安全データシート」を読んでからご使用下さい
 保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを着用すること
 換気の良い所で使用すること
 取扱った後、十分に手を洗うこと
 口に入れないようにすること
 皮膚や眼に接触しないようにすること
 粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと
 環境への放出を避けること
- 【応急処置】 使用後の容器は密閉すること。表示の無い容器へ移し替えないこと
 皮膚または髪に付着した場合:すぐに多量の水と石鹼で洗うこと
 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること
 汚染された衣類を再使用する場合は十分に洗濯し汚染を除去すること
 飲み込んだ場合は口をすすぐこと、医師の診断、手当を受けること
 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること
 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息をとらせること
 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること
- 【保管】 一定の場所を定めて保管すること
- 【廃棄】 内容物や容器を廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名	4-ターシャリーブチルフェノール	変性脂肪族ポリアミン混合物	脂肪族ポリアミン	ベンジルアルコール	m-キシレンジアミン
化審法	(3)-503	非公開	非公開	(3)-1101	(3)-308,2888
C A S . No.	98-54-4	非公開	非公開	100-51-6	1477-55-0

上記成分の混合液体

化学物質管理促進法 (PRTR法)

クラス	物質名
第1種指定化学物質(法第2条 第2項、施行令第1条別表第1)	4-ターシャリーブチルフェノール

労働安全衛生法(通知・表示)

規制区分	政令番号	物質名
名称等を通知・表示すべき危険物及び有害物	530の2	ベンジルアルコール
名称等を通知・表示すべき危険物及び有害物	555	メターキシレンジアミン

含有量

4-ターシャリーブチルフェノール	: 36~40%
変性脂肪族ポリアミン混合物	: 26~30%
脂肪族ポリアミン	: 17~21%
ベンジルアルコール	: 5~9%
m-キシレンジアミン	: 4~8%

4. 応急措置

吸入した場合	:蒸気を吸入した場合は新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること 気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること
皮膚に付着した場合	:ただちに適温の水と石鹼で洗うこと。希酢酸水(0.5～2%水溶液)でぬるぬるする感じあなくなるまで洗う、更に水で洗い、医師の診断、手当を受けること
眼に入った場合	:コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと 水で数分間、注意深く洗うこと この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。不十分であると眼の損傷を生ずるおそれがある 速やかに医師の診断、手当を受けること
飲み込んだ場合	:口の中の異物を取り除き、口の中を洗浄する 速やかに医師の診断、手当を受けること

5. 火災時の措置

消火剤	:霧状の水、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、ガラス繊維布、乾燥砂
使ってはならない消火剤	:棒状の水
特有の危険有害性	:燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれるので、消化作業の際には、煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	:初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。 人員を安全な区域に避難させること。 消火活動からの流去水が排水管または水路に流れ込まないようにすること。
消火を行う者の保護	:消火作業では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用すること。 消火作業は風上から行い、蒸気、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:作業者は適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所へ退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	:流失した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
封じ込め及び浄化方法及び機材	:危険が無ければ漏れを止める。乾燥砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。
二次災害の防止策	:すべての着火源をを排除すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	:火気厳禁、電気機材は防爆構造にするほか、静電気、スパークによる着火源を生じないようにする
局所排気・全体換気	:取扱う場合は、局所排気装置または全体換気設備のある場所で取り扱う。
接触回避	:状況によって保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。
安全取扱い注意事項	:専用の硬化剤と混合する以外、他の物との混合は避けること 酸化剤との接触や混合、炎、火花もしくは高温体との接近

は避けること

保管

技術的対策	: 保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混載禁止物質	: 酸化剤
適切な保管条件	: 通気の良い場所で容器を保管する。容器は直射日光を避け、室内の涼しい場所に貯蔵する。酸性物質と一緒に保管しない。
安全な容器包装材料	: ポリエチレンコーティング容器(缶、ドラムなど) フェノレックスコーティング容器(缶、ドラムなど) ラミネート容器(ハイブリッド缶など)

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 作業場所の換気を十分行い、必要に応じ局所排気装置等の設備をもうけること 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄を行う為の設備を設置する
------	--

保護具

呼吸器の保護具	: 防毒マスク。(有機ガス用)
手の保護具	: 保護手袋(プラスチックまたはゴム製)
眼の保護具	: 保護眼鏡(ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。保護靴または長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 淡黄色～淡褐色粘稠液
臭い	: アミン臭、アンモニア臭
融点／凝固点	: データーなし
沸点又は初留点 及び沸騰範囲	: データーなし
爆発限界及び 爆発上限界／可燃限界	: データーなし
引火点	: 102℃
自然発火点	: データーなし
分解温度	: データーなし
pH	: 11.3
動粘性率	: データーなし
溶解度	: アルコール等の有機溶剤によく溶ける
比重(相対密度)	: 1.08
蒸気圧	: データーなし
粒子特性	: データーなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温、常圧で安定
危険有害反応可能性	: 自己反応性なし(通常の条件下では安定)
避けるべき条件	: 低温での長期保管、空気(炭酸ガス)との接触
混触危険物質	: 酸化剤、過酸化物、水、水分、空気中の湿気、イソシアネート化合物 アクリル化合物、エポキシ化合物
危険有害な分解生成物	: アンモニア、一酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害情報

急性毒性	:4-ターシャリーブチルフェノール	LD50(経口) ラット 3620mg/kg
		LD50(経皮) ウサギ >16000mg/kg
	ベンジルアルコール	LD50(経口) ラット 1230mg/kg
		LD50(経口) マウス 1230mg/kg
		LD50(経皮) ラット 1700mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	:4-ターシャリーブチルフェノール	区分2
	m-キシレンジアミン	区分1B
眼に対する重篤な損傷 /刺激性	:4-ターシャリーブチルフェノール	区分1
	m-キシレンジアミン	区分1
皮膚感作性	:4-ターシャリーブチルフェノール	区分1
	m-キシレンジアミン	区分1
生殖細胞変異原性	:情報は得られていない	
発がん性	:情報は得られていない	
生殖毒性	:情報は得られていない	
特定標的臓器毒性(単回暴露)	:4-ターシャリーブチルフェノール	区分3
	m-キシレンジアミン	区分1
特定標的臓器毒性(反復暴露)	:4-ターシャリーブチルフェノール	区分1
誤えん有害性	:情報は得られていない	

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	:4-ターシャリーブチルフェノール	EC50(48h)甲殻類 3.9mg/L
	ベンジルアルコール	EC50(48h)甲殻類 55mg/L
水生環境有害性(慢性)	:4-ターシャリーブチルフェノール	EC50(96h)魚類 5.1mg/L
	ベンジルアルコール	EC50(96h)魚類 10mg/L
生態毒性	:情報は得られていない	
残留性/分解性	:情報は得られていない	
土壤中の移動性	:情報は得られていない	
オゾン層への有害性	:情報は得られていない	
他の有害影響	:情報は得られていない	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:焼却する場合、関連法規、法令を順守する 不用になった製品及び空容器を廃棄するときは、法的に認可を受けた産業廃棄物処理業者に、廃棄物処理を委託すること
汚染容器及び包装	:空の汚染容器を・梱包材料を廃棄する場合、内容物を除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規、法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

陸上輸送	:法令に従って輸送する 積み重ねは3m以下とし、容器の漏れ、破損のない事を確認し、転倒
------	--

海上輸送
航空輸送

落下等がないように積みこみ、荷崩れ防止を確実に行う。
:船舶安全法に定められている運送方法に従う
:航空法に定められている運送方法に従う

15. 適用法令

消防法 :危険物 第4類第3石油類非水溶性 危険等級Ⅲ
混載禁止:①消防法危険物第一類物質及び第6類物質、②高圧ガス
労働安全衛生法 :名称等を表示すべき危険物及び有害物
(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
:名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害防止のための基準
化学物質管理促進法 :第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
労働基準法 :疾病化学物質(感作性物質)

16 その他の情報

参考文献 :厚生労働省 作業環境評価基準 (平成21年3月31日 告示第195号)
許容濃度等の勧告 日本産業衛生学会 (2009)
エポキシ技術協会「エポキシ樹脂、硬化剤関連化合物 取扱い参考データー集」
エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害防止のための基準(労働省労働基準局長通達昭和51年6月5日付け基発第477号)
感作物質の指定(労働基準法施行規則の規定に基づき労働大臣が指定する単体たる化学物質及び化合物に係る労働衛生対策について)(労働省労働基準局通達平成8年3月29日付け基発第182号)
原料各社の「安全データーシート」

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載データーや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。全ての化学製品には未知の有害性が有り得る為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。